

第 14 回塩尻総合学科新校再編実施計画懇話会

日時：令和 8 年 7 月 14 日（火）

午後 5 時 30 分～7 時

会場：塩尻総合文化センター 1 階 講堂

次 第

1 開 会

2 挨 拶

3 新構成員紹介

4 会議事項

（1）「第 13 回塩尻総合学科新校再編実施計画懇話会」まとめ

（2）「学び×空間」ワークショップまとめ

（3）施設整備プロポーザルに向けて

（4）統合に向けた両校の取り組み状況と今後の方向性について

（5）その他

5 諸連絡

次回の予定

【日時】 令和 9 年 1 月中旬～下旬

【場所】 未定

6 閉 会

新校再編実施計画懇話会開催要綱

（目的）

第1 県教育委員会が、統合新校ごとの再編実施計画を策定するにあたり、再編対象校に加えて、対象校が所在する地域の意見を聴くため、「新校再編実施計画懇話会」（以下、「懇話会」という。）を開催する。

なお、懇話会は、地方自治法第138条の4第3項の規定に基づき、法律又は条例により設置された附属機関ではないものとする。

（会議事項）

第2 懇話会は、次の事項について意見交換を行う。

- （1）学校像、教育方針等に関する事
- （2）校地・施設・設備等に関する事
- （3）管理運営等に関する事
- （4）教育内容等に関する事
- （5）その他、県教育委員会が必要と認める事項に関する事

（構成員）

第3 懇話会の構成員は、統合対象校の学校関係者（校長、教職員等）、地域の代表（自治体関係者、産業界の代表等）、同窓会、PTA、生徒の代表等とし、必要に応じ、県教育委員会が依頼する。

2 会議に座長を置く。

（開催期間）

第4 会議は統合新校が開校するまでの間、開催するものとする。

附 則

この要綱は、令和2年10月26日から施行する。

第14回塩尻総合学科新校再編実施計画懇話会 構成員名簿

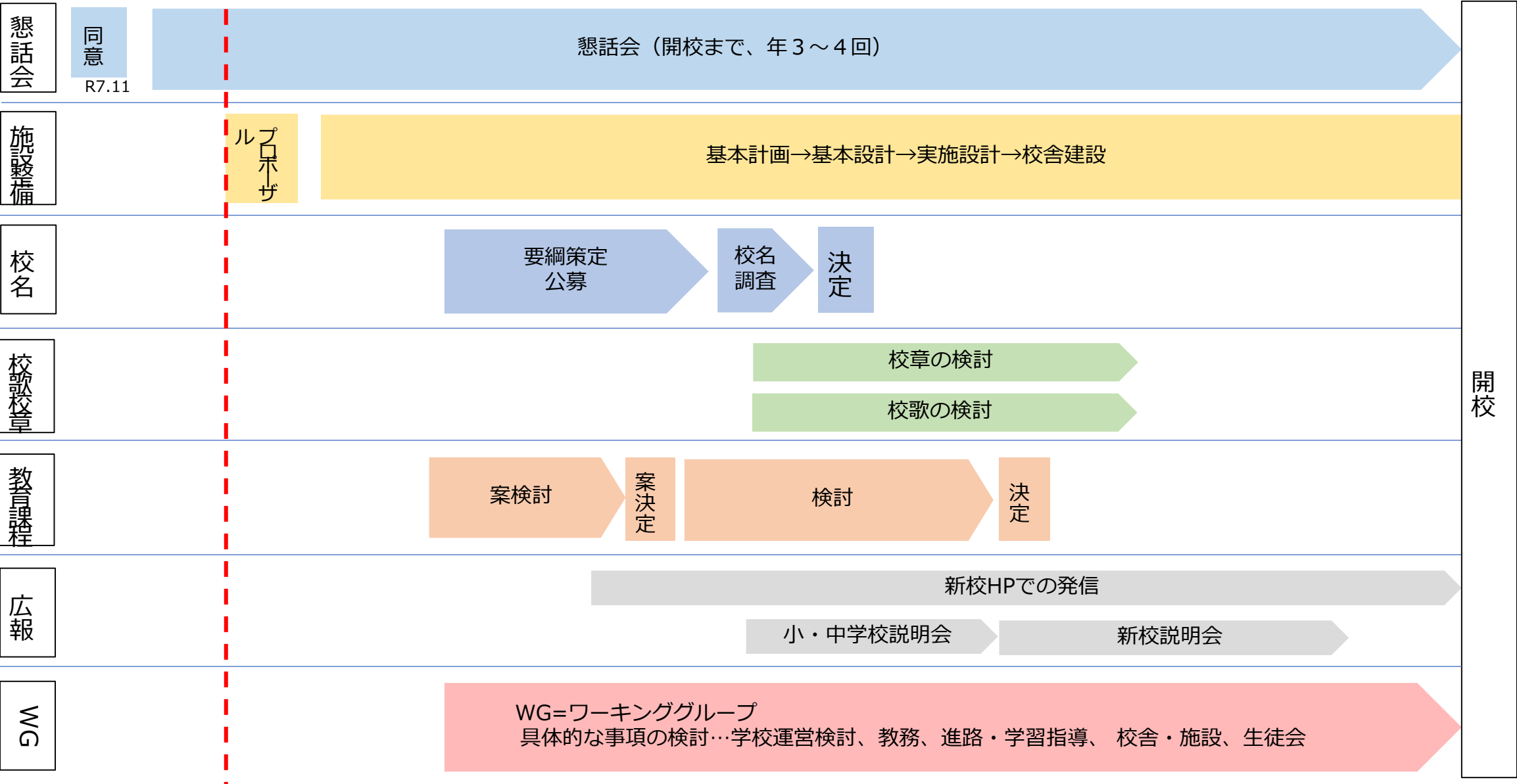
(敬称略)

	区分	氏名（座長○）	所属等	役職	新構成員
1	自治体	石坂 健一	塩尻市	副市長	
2		○佐倉 俊	塩尻市教育委員会	教育長	
3		大池 昌弘	山形村教育委員会	教育長	
4		百瀬 司郎	朝日村教育委員会	教育長	
5	産業界	小松 稔	塩尻商工会議所	会頭	
6		林 修一	塩尻市観光協会	会長	
7	学識 経験者	渡邊 修	信州大学農学部農学生命科学科	准教授	
8		小林 敏一	エプソン情報科学専門学校	学校長	
9	地域	中島 紀彦	セイコーエプソン株式会社 P 総務部	部長	
10		横山 暁一	N P O 法人 M E G U R U	代表理事	
11		斎藤 政一郎	松本地域振興局	局長	
12	同窓会	赤羽 誠治	塩尻志学館高等学校同窓会	会長	
13		霜田 美奈	田川高等学校同窓会	会長	
14	P T A	宮原 信貴	塩尻志学館高等学校 P T A	会長	○
15		鍋島 順司	田川高等学校 P T A	会長	○
16		田中 信宇	東筑摩塩尻 P T A 連合会	会長	○
17	小中 学校 関係者	吉越 秀之	東筑摩塩尻校長会代表 塩尻市立桔梗小学校	学校長	
18		高坂 由美子	東筑摩塩尻校長会代表 塩尻市立塩尻西部中学校	学校長	
19		永田 寛尚	松本支援学校	学校長	
20	再編 対象校	小松 大斗	塩尻志学館高等学校	生徒会長	
21		大澤 寧々	塩尻志学館高等学校	生徒会副会長	
22		滝澤 陽向	塩尻志学館高等学校	生徒会副会長	
23		藤田 美蕾	田川高等学校	生徒会長	
24		吉田 武紗土	田川高等学校	生徒会副会長	
25		長谷川 香穂	田川高等学校	生徒会副会長	
26		堀内 雅司	塩尻志学館高等学校	学校長	
27		今井 直哉	塩尻志学館高等学校	教職員	
28		青木 裕士	田川高等学校	学校長	
29		笠原 勇貴	田川高等学校	教職員	

事務局					
塩尻志学館高等学校		田川高等学校		長野県教育委員会	
木下 博史	教頭・事務局長	内川 源弘	教頭・副事務局長	田中 聡	高校再編推進室 主幹指導主事
今井 直哉	新校準備委員会構成員（長）	笠原 勇貴	新校準備委員会構成員（長）	荻原 洋平	高校再編推進室 主任指導主事
跡部 徹	新校準備委員会構成員（副）	代田 嘉弘	教務主任	宮嶋 直美	高校再編推進室 主任指導主事
鈴木 梢	進路指導主任			宮澤 春菜	高校再編推進室 主事
				宮坂 正議	学びの改革支援課 指導主事

塩尻総合学科新校の開校までのロードマップ（イメージ図） R8.7現在

R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 R15



第 13 回 塩尻総合学科新校再編実施計画懇話会まとめ(案)

日 時	令和 8 年（2026 年） 4 月 21 日（火） 午後 5 時 30 分から午後 7 時まで		
場 所	塩尻総合文化センター 講堂		
出 席 （敬称略、 ◎座長）	石坂 健一、◎佐倉 俊、大池 昌弘、百瀬 司郎、小林 敏一、中島 紀彦、横山 暁一、草間 英樹（代理） 赤羽 誠治、霜田 美奈、桃井 則美、堀内 みどり、北沢 寿明、吉越 秀之、高坂 由美子、永田 寛尚 小松 大斗、大澤 寧々、滝澤 陽向、藤田 美蕾、吉田 武紗土、長谷川 香穂、堀内 雅司、今井 直哉 青木 裕土、笠原 勇貴 以上 26 名		
欠 席 （敬称略）	太田 幸一、小松 稔、林 修一、渡邊 修、 以上 4 名	傍 聴	7 名、報道 2 社
事務局	塩尻志学館高校：木下教頭（事務局長）、今井教諭、跡部教諭、深澤教諭 田川高校：内川教頭（副事務局長）、笠原教諭、代田教諭 県教育委員会：（高校再編推進室）井出室長、田中主幹指導主事、荻原主任指導主事、宮嶋主任指導主事 東城主査 （学びの改革支援課）宮坂指導主事		
会議事項	(1) 第 12 回塩尻総合学科新校再編実施計画懇話会まとめ (2) 再編実施基本計画の報告 (3) 今後の予定 (4) 施設整備プロポーザルに向けて (5) ワークショップ（学びのイメージの具体化に向けて）		
当日資料	第 13 回塩尻総合学科新校再編実施計画懇話会資料		
主な内容 （⇒：事務局回答 / →：県教委回答 / ➡：座長まとめ）			
(1) 第 12 回塩尻総合学科新校再編実施計画懇話会まとめ 質問、意見なし➡承認			
(2) 再編実施基本計画の報告 第 12 回懇話会で承認された再編実施基本計画は、令和 7 年 12 月の県教育委員会定例会にて承認され、統合案が決定。 その後、2 月県議会で「高等学校統合に係る事件案」について同意を得て、統合が正式に決定。（質問・意見なし）			
(3) 今後の予定 ・資料を基に事務局が説明。「塩尻総合学科新校の開校までのロードマップ（イメージ図）」では、開校までの中長期的なスケジュールを説明。表示の年度はあくまでも目安。様々な事柄が同時並行的に進行していくイメージ。 ・今年度は施設整備プロポーザルが中心。設計パートナーの最終選考となる二次審査は塩尻志学館高校を会場に公開で開催予定。 (出された意見) ・新校のスタートに合わせ、校歌も新しくすることがよいと考える。 →新校の開校に合わせ、校歌についても新たに制作する方向で検討している。			
(4) 施設整備プロポーザルに向けて ・資料を基に県教育委員会が説明。NSD（長野スクールデザイン）プロジェクトについて再度説明。 ・塩尻総合学科新校の校地は、現在の塩尻志学館高校の場所を活用。どの建物をどの程度工事するかといった具体的な内容については、今後検討。NSD の考え方の中にもあるとおり、すべてを新しく建て替えるのではなく、今ある校舎の中で使える部分は大切に使いながら、新しい学びを実現するために必要な施設や空間をこれから整えていく。現時点では工事箇所をはっきり示すことができないが、この後のワークショップでは、新校が目指す学びにふさわしい施設や空間について自由な発想でアイデアを出してほしい。 （質問、意見なし）			
(5) ワークショップ（学びのイメージの具体化に向けて） 「総合学科の学び」について、塩尻志学館高校総合学科主任今井教諭が説明 ・総合学科ではキャリア学習と科目選択に力を入れている。 ・キャリア学習では、自己理解と学問や社会について探究するために多様な授業や講演会、ワークなどがある。 ・科目選択では 2 年次に 16 単位、3 年次に 24 単位を自由に選択できる（塩尻志学館の場合）。 ・科目選択とキャリア学習は将来の進路と関連付けながら並行して進めていくことが重要。 ・課題としては、施設・設備の都合により講座の定員や開講講座数などに制限を設けることがあるため、希望通りに選択できないことがある。 ・時間割によっては授業間の移動が多くなってしまうこともある。 （質問、意見なし）			

ワークショップの主なポイントを説明

- ・正解・不正解はない
- ・立場の違いを尊重して自由に意見を交換
- ・建物の話だけでなく、どんな学びが、どんな場所で行われるかを意識する

【各グループのワークショップで出た主な意見】

①総合学科ならではの学び

- ・地域との交流や小中高の交流などを多くした方がよい。
- ・志学館のワインを使ったビジネスや、ワイナリー、ショップの見学などがあるとよい。
- ・小中との連携で、塩尻志学館でブドウジュースを作ったり、田川高校の銀杏を販売したりすること。
- ・大学の授業を受けられるような学び。
- ・先端技術や生成AI、ICTの活用などの学習は社会に出て働きやすくなるために必要。
- ・リモート授業を活用して世界との関わりを増やす学びや、欠席しても授業においていられないような学び方。
- ・ディスカッションや発表などにより、個人ではなく多くの仲間と関わり全体で循環するような学習活動ができるとよい。
- ・企業と協力してボランティアに積極的に取り組むこと。
- ・キャリアカウンセリングコーチングという、生徒の将来や進路について理解を深める学び。
- ・40分×7時間授業。毎日6時間目に探究の講義を設け、知りたいことを深める授業を展開。
- ・起業を目指す生徒への体験授業や、塩尻でチャレンジしている人とのコラボレーション。

②それを支える学校施設

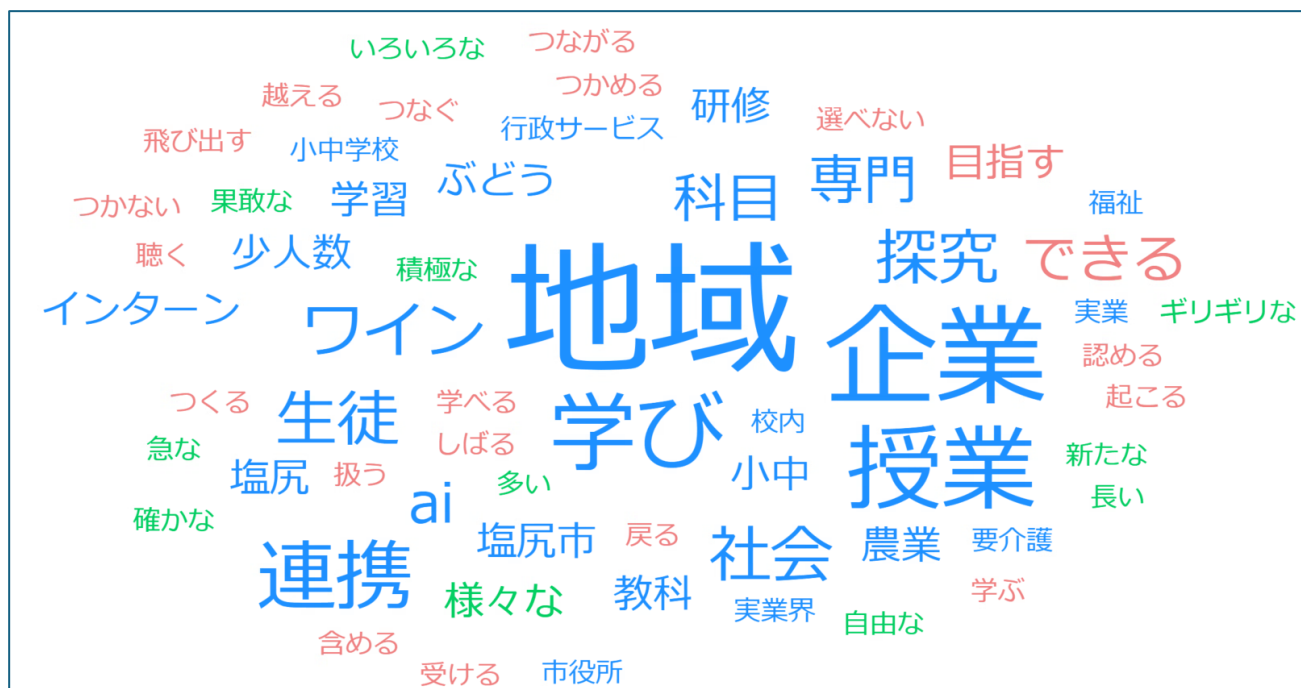
- ・ビル型の立体的な校舎にすることで屋上でのさまざまな活動も期待できる。
- ・地下ライブハウスなど、地下の活用もできるのではないかな。
- ・部活動や生徒会活動の活性化のために、施設の充実ができるとよい（屋内練習場、屋内ステージなど）。
- ・ワインを貯蔵するための施設設備（ワイナリー、ワインセラー、温度管理の施設）。
- ・体育館にWi-Fiがあると、体育などの授業でうまくするための動画やコツを検索してすぐに練習できる。
- ・講義、演劇などで使えるような大きなホールやステージ。
- ・広い駐車場があると地域連携や文化祭などの行事でも人が集まりやすい。
- ・地域連携室だけでなく、地域連携には講義室や調理室などの様々な教室が必要で、また人数に合わせて使える可動式の机や椅子、パーテーション等が必要。
- ・生徒の憩いの場（コンビニ、カフェ、開放的な空間、仮眠空間など）。
- ・多様な生徒に対応できる施設（バリアフリー、エレベーター、エスカレーター、多目的トイレなど）。
- ・大きいテーブル型のモニターがあるとグループワークに便利。

その他

【次回懇話会】

- ・期日：未定
- ・議題：ワークショップのまとめ、施設整備プロポーザルについて 他
日程調整が済み次第、開催通知にてお知らせする。

<学び>

[illegible]

①探究・キャリア・社会連携の学び

学び

- ・探究学習（1人1課題／学年横断）
- ・企業、NPO、大学、行政（市役所・税・法令）との連携
- ・インターン、有償インターンの単位化
- ・起業家教育、校内ビジネス・仮想株式取引
- ・地域課題、社会課題、「今、世界で起きていること」
- ・キャリアカウンセリング、ロールモデルとの出会い

対応する施設・空間

- ・地域連携協働室／企業連携棟／大学連携棟
- ・起業家シェアオフィス・学生起業家用オフィス（登記可）
- ・共創スペース（生徒・企業・教員・地域が混在）
- ・キャリアデザイン室（先輩・OB・企業事例展示）
- ・大講義室・可動式講義室（大学授業・行政講座）
- ・デジタルサイネージ（社会の動き・企業課題掲示）

→ 「学ぶ場所＝社会と打合せする場所」

②地域・福祉・農業・産業と結びつく学び

学び

- ・地域探究、福祉ボランティア
- ・要介護の方との交流
- ・農業、商業、工業、情報の横断学習
- ・ぶどう、ワイン、地域産業（エプソン等）
- ・小中高一貫、地域フィールドワーク（朝日村・山形村含む）

対応する施設・空間

- ・介護施設のような共生型スペース
- ・地域にひらかれた交流スペース（出入り自由）
- ・農園、ワイン醸造用棟、新ワイナリー
- ・ワインセラーと教室（地域住民も利用）
- ・調理実習室（収穫物活用、そば打ち部屋）
- ・地域の方も集えるカフェ、カフェテリア

→ 「地域の日常が学びに入り、学びが地域に戻る」

③国際・多様性・リベラルアーツ

学び

- ・国際交流・留学生受入・在日外国人との交流
- ・海外とつながる／海外へ出る
- ・外国語コミュニケーション
- ・IB的単位制、リベラルアーツ、世界の学びと常時接続
- ・多様性に配慮した学習

対応する施設・空間

- ・オンライン授業・国際接続用PCルーム
- ・遠隔ミーティングスペース
- ・外国語で発信できる発表スペース
- ・大学のように外部との敷居が低いキャンパス構成
- ・学年・国籍・年齢の壁がない共用ラウンジ

→ 「世界が教室に入り、教室が世界へ開く」

④表現・アート・演劇・スポーツ

学び

- ・演劇教育・ドラマ教育
- ・アート（AIにできない表現）
- ・音楽・映像・ラジオ番組制作
- ・スポーツ専門系列（全国・五輪レベル）
- ・部活動を学校の特色に

対応する施設・空間

- ・円形劇場型教室、屋内／屋外ステージ
- ・スタジオ劇場、地下ライブハウス
- ・音楽スタジオ（ピアノ・ギター）
- ・動画撮影、配信用スタジオ
- ・トレーニング施設、屋上テニスコート、雨天練習場
- ・体育館＋ステージ＋Wi-Fi

→ 「表現の場が日常に溢れる学校」

⑤ICT・AI・デジタル活用

学び

- ・AI、ICTを活用した探究
- ・社会の変化に即応する学び
- ・リモート授業・個別最適化学習
- ・自己探究の徹底

対応する施設・空間

- ・フルデジタル校舎（全教室 ICT 完備）
- ・大量のデジタルサイネージ
- ・大型テーブル型モニター（協働思考）
- ・個室ブース・10人規模の小部屋多数
- ・先生付き自習棟・進学保障教室

→ 「いつでも、どこでも、誰とでも学べる」

⑥日常の居場所・交流・キャンパスデザイン

学び

- ・生徒が自然に集い、語り、挑戦する
- ・他者の気配を感じる
- ・発信が「あちこち」にある

対応する施設・空間

- ・大きな中庭・屋上庭園・青空スペース
- ・ウッドデッキ、芝生、屋外ランチ
- ・カフェ的教室、談話室、たむろできる空間
- ・外から見える教室、発表即可能な教室
- ・インパクトあるエントランス（ぶどうモチーフ等）

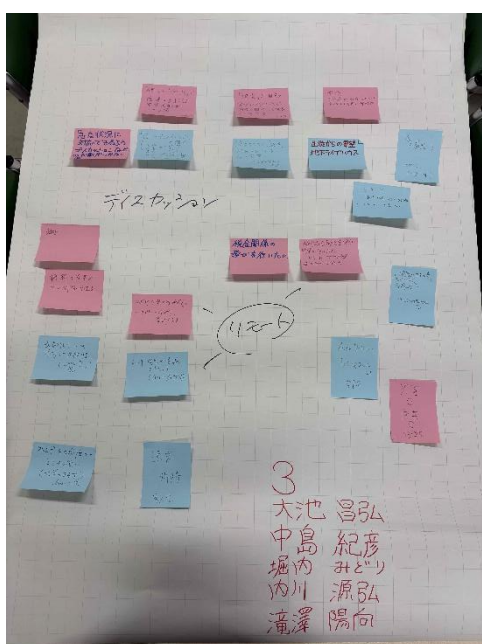
→ 「居心地の良さが挑戦を生む」



1 班



2 班



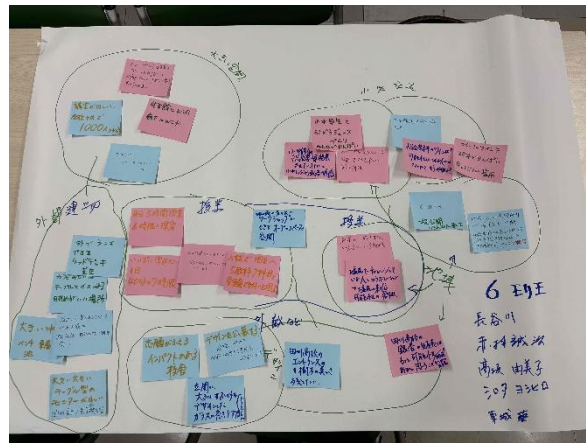
3 班



4 班



5 班



6 班

プロポーザルについて

➤ **名称**

塩尻総合学科新校施設整備事業基本計画策定支援業務委託
プロポーザル

➤ **主催**

長野県教育委員会

➤ **性格**

本プロポーザルは、事業者の基本的な考え方や学校施設等の設計に関する技術力、学校施設や学びに対する理解について、与えられた条件下における提案を基に評価し、最適候補者等を選考するために実施するものです。提案は選考を行なうための資料とするものであり、基本計画に際して県教委が提案された内容に拘束されるものではありません。

7

提案に求める内容(予定)

➤ **配置計画**

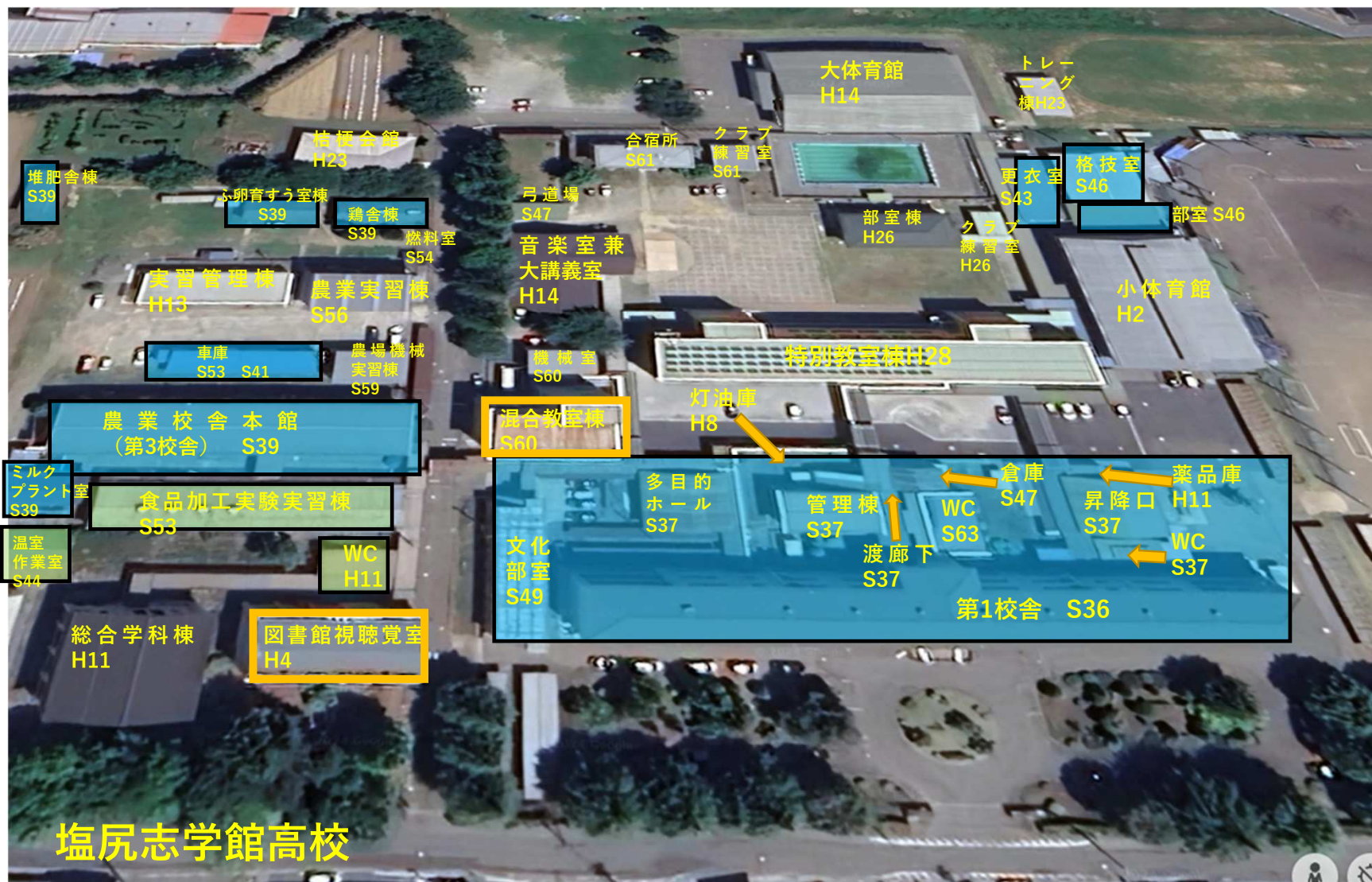
- ・改築校舎（建替え校舎）と活用する既存校舎との接続、調和
- ・地域に開かれた学校、つながりのある空間
- ・メイン校舎の配置とゆとりある外構空間
- ・通学や、校内における生徒の効率的な移動動線
- ・整備期間中の在校生の学びの保障

➤ **建築計画**

- ・多用途に対応できる教室サイズの検討
- ・教科間、教員間、生徒間等の連携や各教科の学びの融合を支える学習空間又は生活空間の検討
- ・食品製造施設の関係法令等を踏まえた施設設備
- ・建替え前と同程度の体育施設規模の確保

8

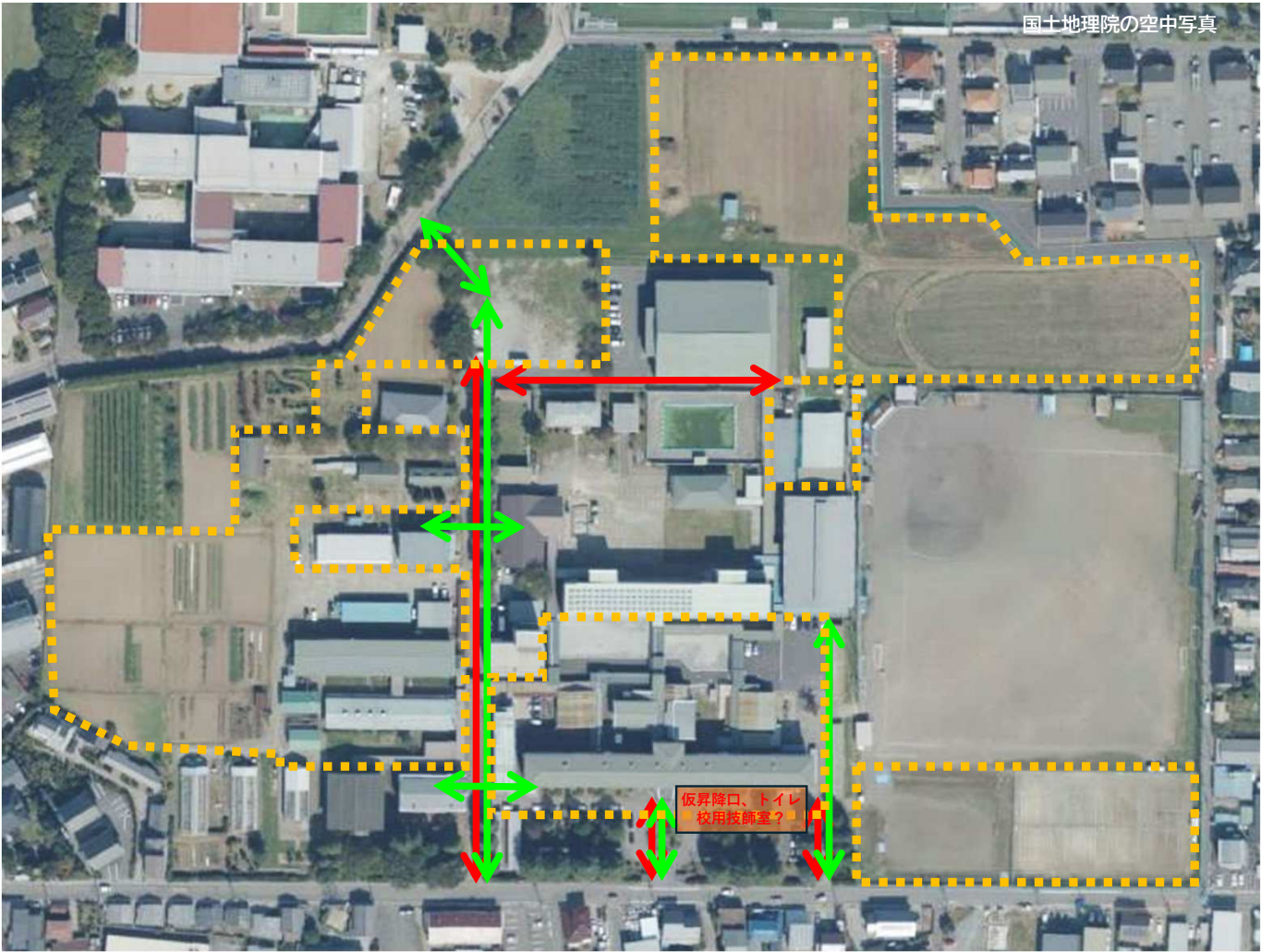
整備対象と建設年代 2026.07.14



※建替え、改修部分については、確定したものではないため、今後変更となる場合があります。

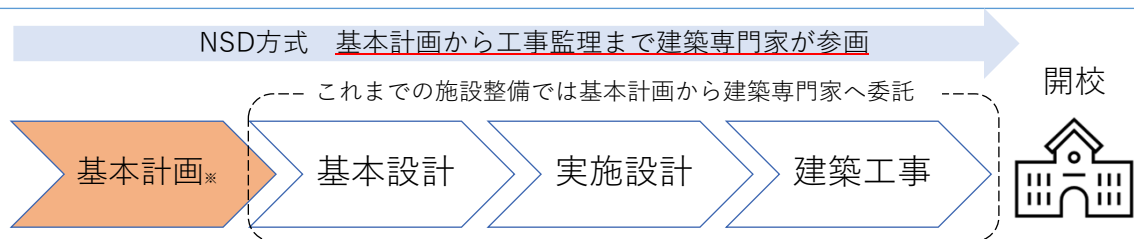
建替え候補地 2026.07.14 事業期間短縮、引越し軽減のため、教室類の仮設校舎を建設しない

- 想定案
- 学校関係者
切り回しルート
 - 工事車両動線
 - 建替え候補地



※建替え、改修部分については、確定したものではないため、今後変更となる場合があります。

NSDプロジェクトによる新校開校までの整備手順



これまでの施設整備

- ・基本計画について、県教委及び営繕部局で策定 ⇒ 意見の反映できる幅がせまい
⇒ 昔ながらの標準図に基づき、画一的な施設整備

NSDにおける施設整備

- ・ 学校づくりの骨格を決める基本計画から建築専門家が参画し、生徒、教員、地域と意見交換
- ・ 設計者が建築条件を早い段階から整理し、最適な配置計画及びコストコントロールを検討

⇒ **生徒、教員、地域の意見を多角的に整理し、最適な建築計画とコストで学びと空間の一体的改革を推進できるプロセス！**

12

スケジュール（予定）

- 令和8年8月中旬 公告
- 10月下旬 一次審査（非公開）
 - ・書類による審査で4者程度を選考
- 11月下旬 二次審査（公開）
 - ・会場：塩尻志学館高校
 - ・審査方法：書類提出の上、プレゼンテーション、ヒアリング
 - ・審査結果：当日中に発表
- 12月下旬 委託契約
- 契約後、令和9年11月まで施設整備基本計画策定
 - ・ワークショップの開催、先進地視察
 - ・9月末に基本計画(案)とりまとめ
- 令和10年度、11年度設計
- 令和12年度から工事

13



普通じゃないからオモシロイ。
～つくりだせ、ジブンイロ～

- ・国社数理英以外に農業、商業、家庭、福祉、芸術、スポーツ、情報も学べる総合学科高校
- ・夢をかなえる自分だけの時間割 主体性No.1
- ・80年以上続く伝統のワイン醸造を学べる

生徒PR

- ・「好き」を伸ばせる ・ミニ大学みたい
- ・自分で考える力、行動力が身につく

7年後の統合に向けて

- 1 キャリア教育
- 2 探究学習
- 3 科目選択
- 4 多様な進路

7年後の統合に向けて

- 5 ワイン醸造
- 6 学校間連携
- 7 系列の新設
- 8 統合までの課題



**1 キャリア教育
(総合学科の肝①)**

～産業社会と人間～

- ・地域との関わりから学ぶ
- ・これからどう生きるか
- ・何がしたいか
- ・どんな力を身につけたいか



2 探究学習(総合学科の肝②)

～グループ探究・個人探究～

- ・探究のパイオニア(30年)
- ・協働と探究 課題解決型の探究
- ・地域に飛び出せば…
- ・地域が自分を成長させてくれる
- ・大規模総合学科高校の誇り

3 科目選択(総合学科の肝③)

7

～主体性を育む科目選択～

- ・ どう生きていくか
- ・ 何を学びたいのか
- ・ 本当に受けた科目が選択できる
(自由選択科目、学校設定科目の見直し)
- ・ 教育課程、時間割の見直し

4 多様な進路(総合学科の肝④)

8

～多様な進路実現～

- ・ 専門学校、私立大、国公立大、短大、就職まで多様な進路実現こそ総合学科の特色
- ・ 総合学科、探究を活かした総合型選抜入試への対応

5 ワイン醸造

9

～80年余の歴史と伝統～

- ・ 地域資源(ぶどうとワイン)の活用
- ・ 産学官連携の事業持続と強化
- ・ 醸造量と質の維持、継承
- ・ 食品加工業、醸造業の人材育成
- ・ 指導者、教員の配置と人材育成

6 学校間連携

10

～田川との連携と都市大との協調～

- ・ 田川との統合を見据えた動き
- ・ 少子化に伴う部活動の精選
- ・ 運動部・文化部の合同活動の促進
- ・ 高体連・高文連・高野連への申請
- ・ 統合以降の塩尻市との連携



7 系列の新設

11

～情報メディア系列～

- ・ R9年度7系列を8系列に増やす
- ・ ICT化、情報化に伴い、生徒のニーズに応える学校設定科目(自由選択科目)を増やし、さらなる特色化を図る(情報科教員の増員)



- ①人文 … 普通科文系
- ②理数 … 普通科理系
- ③芸スポ … 芸術体育科
- ④農科科学 … 農業科
- ⑤ビジネス … 商業科
- ⑥生活文化 … 家庭科
- ⑦生活福祉 … 福祉科
- ⑧情報メディア…情報科

8 新校に対するビジョン

13

～総合学科基幹校として～

- ・総合学科の魅力を発信し続ける
- ・魅力を発進し6学級規模を維持する
- ・塩尻市、田川高校と連携して文化芸術・スポーツをさらに発展・推進していく
- ・松本市内校、私立高校に勝る学校力を目指す

ありがとうございました

塩尻志学館高等学校長 堀内雅司
0263-52-0015
horiuchi-masashi-r@pref.nagano.lg.jp
<https://sites.google.com/g.nagano-c.ed.jp/shigaku-kocho/>

田川高等学校

現在の取り組みとこれからについて

The image block contains four photographs of Taikawa High School. The top-left photo shows a summer scene with green trees and a clear sky. The top-right photo shows an autumn scene with yellow trees and a clear sky. The bottom-left photo shows a winter scene with snow-covered trees and a clear sky. The bottom-right photo shows a winter scene with snow-covered trees and a clear sky. The text '現在の取り組みとこれからについて' is overlaid on the bottom-left photo.



生徒数（5月1日現在）

* 赤字は令和3年度

1 学年（4 学級）	1 1 2 名	（男68 女44）
	（1 8 1 名）	
2 学年（4 学級）	1 0 6 名	（男46 女60）
	（1 6 6 名）	
3 学年（5 学級）	1 6 3 名	（男88 女75）
	（1 8 8 名）	
合 計	3 8 1 名	（男202 女179）
	（5 3 5 名）	

* 最盛期は1,350名超

出身中学校比率（本年度）

塩尻市	松本市	他
114人	256人	11人

65%以上の生徒が松本市から通学

教育課程（全日制普通科）									
教科	国語	地理歴史	数学	理科	保健体育	芸術	外国語	情報	必修
1年	科目 現代の国語 言語文化	地理総合 歴史総合	数学Ⅰ 数学A	科学と 人間生活	体育 保健	※音楽Ⅰ ※美術Ⅰ ※音楽Ⅱ	英語Ⅱ・コミュニケーションⅠ 読解・表現Ⅰ	情報Ⅰ	探究の ための 総合的 学習
単位数	4	4	5	2	3	2	5	2	1
必修									
国語	公民	数学Ⅱ	理科	保健体育	外国語	家庭	2～3科目選択	必修	探究の ための 総合的 学習
2年	科目 文学国語 古典探究	公民	数学Ⅱ	物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎 かき／教科	体育 保健	英語コミュニケーションⅡ	家庭基礎	※日本史探究 ※世界史探究 ※数学Ⅱ ※数学Ⅲ ※物理探究 ※生物探究 ※音楽Ⅲ ※美術Ⅲ ※看護Ⅲ	探究の ための 総合的 学習
単位数	4	2	4	2	4	4	2	5	1
必修									
教科	国語	保健体育	外国語	選択				必修	
				7～9科目選択					
3年	科目 文学国語 古典探究	体育	英語Ⅲ・コミュニケーションⅡ	※国語活用Ⅲ ※国語活用Ⅲ ※物理探究 ※日本史特選 ※世界史特選 ※倫理 ※政治・経済 ※数学Ⅲ ※音楽Ⅲ ※数学探究 ※数学A特選 ※数学B特選 ※物理 ※化学基礎 ※化学 ※生物基礎 ※生物特選 ※生物 ※地学基礎 ※地理・環境 ※音楽Ⅲ ※美術Ⅲ ※美術Ⅲ ※音楽Ⅲ ※美術Ⅲ ※音楽Ⅲ ※美術Ⅲ ※美術Ⅲ ※情報Ⅲ ※情報探究 ※IT・IT・IT ※看護実習 ※音楽基礎				探究の ための 総合的 学習	
単位数	4	2	3	18				1	

卒業後の進路（昨年度）

進路	割合
専門学校	46%
大学	24%
短大	10%
就職	15%
その他	5%



現在抱えている課題

- ・ 志願者の減少（職員の削減）
- ・ 基礎学力の定着
- ・ クラブ活動の加入率低下
- ・ 探究的学びの充実

今後に向けた取り組み

キャリア教育の充実

- ・ 上級学校・企業との連携講座
- ・ 1年次より全生徒による「看護・幼児教育・保育・介護」分野の学習
- ・ 大学、短大、専門学校による分野別出前講座
- ・ 年1回以上の大学見学
- ・ インターンシップ

探究的な学びの充実

カリキュラムのリニューアル

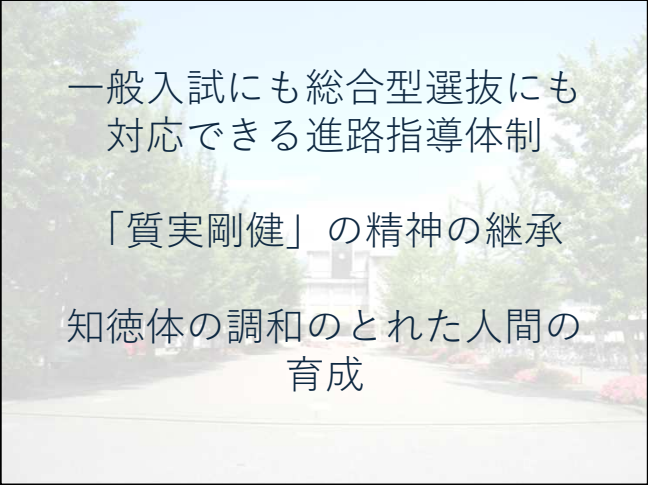
- ・ 教育課程の見直し
- ・ コースの創設
- ・ 単位制導入の検討



統合に向けて・・・

開校数年前から（私案）

- ・クラブ合同チームや協働的な活動
- ・共通科目の設置
- ・職員の兼務



一般入試にも総合型選抜にも
対応できる進路指導体制

「質実剛健」の精神の継承

知徳体の調和のとれた人間の
育成



田川高校は

まだまだ頑張ります

応援宜しくおねがいます！

(参考資料)塩尻新校に係る新聞記事



私たちの文化祭 一緒にPR

いずれも塩尻市内の塩尻志学館、田川、東京都市大塩尻の3高校は28日、塩尻駅前広場で各校の文化祭を初めて合同でPRした。文化祭の一般公開日が7月4、5日に重なることから、3校で連携して地域を盛り上げようと企画。吹奏楽やダンスなど各校の文化系部活動によるパフォーマンスがあり、目前に迫った文化祭をアピールした。

塩尻の3高校初の企画

来月4、5日「足運んで」

塩尻志学館と東京都市大塩尻、大塩尻の雲田桃花さん(18)は、以前から文化祭の最終日は「3校で顔を合わせてそれ日に合同で花火を打ち上げる」などの交流があった。ただ、生徒同士の親交を十分に深められていなかったこともあり、別の方法を構想。松本市内の県立4高校が昨年文化祭を合同でPRしたことを知り、同様の取り組みをしようと、田川にも声をかけた。

この日は3校の吹奏楽部による合同演奏や、軽音楽部や書道部などのパフォーマンスが会場の雰囲気盛り上げた。各校の生徒たちは塩尻駅利用者らに文化祭のチラシを配った。

いずれも3年生で東京都市

R8.6.29
信濃毎日新聞

R8.6.29
市民タイムス

塩尻3校 合同パフォーマンス

塩尻市にある塩尻志学館、東京都市大学塩尻、田川の3高校の生徒らは28日、市内の塩尻駅前公園で、来月4日と5日に各校で行う文化祭のPR活動として合同で行った。初の企画で、生徒約220人が集結した。チラシ配りや各種パフォーマンスの発表をして盛り上げ、文化祭の楽しい雰囲気を一足早く伝えた。3校の生徒会長がそろって開会宣言をした。3校の吹奏楽部の合同演奏や、各校のダンス部や書道部などによる発表があった。生徒は「一体感が出て自分たちの意欲の向上につながる。宣伝ができたので入場者が増えるといい」と期待していた。合同活動を発表した塩尻志学館の桔梗祭運営委員長の堀金真さん(17)は「今日の経験を踏まえてさらに工夫し、文化祭当日は120%の力を出したい」と話していた。

一般公開は、桔梗祭は両日午前10時～午後3時、柏祭は両日午前10時～午後3時、蒼穹祭は4日午後1時半～4時、5日は午前10時～午後3時半。

(石川鮎美)



はじける青春 文化祭PR